

医療クリニック北口にバス停

福島交通の路線バス経路に4月から「南東北医療クリニック」停留所が新設されました。

福島交通の路線バスを利用して同クリニックに通院する場合、これまでの乗降場所は国道288号線(旧4号線)沿いの「総合南東北病院」停留所だけでしたが、これに加えて新たに5便限定で同クリニック北口からも乗降できるようになりました。これにより郡山駅前からは病院のシャトルバス以外にもクリニックま



南東北医療クリニック北口に設置された福島交通のバス停標識

ホームページ充実 眼科クリニック

南東北眼科クリニックはホームページをリニューアルし、これまで以上に内容を充実させました。

これまでは総合南東北病院のホームページの中で情報を発信していましたが、

で行けるバスが増え、交通の便がさらに良くなりました。バスの時刻表は福島交通のホームページをご覧ください。

新たなバス停はクリニック北側の市道沿いに設置されています。総合南東北病院ではクリニックを経由したバスが円滑に国道288号線に戻れるように、バス停の近くに方向転換できる場所を設けました。



方向転換し国道に向う 福島交通の路線バス

独立したホームページとなりました。診療、医師、目の疾患のほか、多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術、寝ている間に特殊な形状をしたオルソケラトロジー(ナイトレンズ)を装着し角膜の形状を矯正する近視治療法などの先進医療も紹介しています。

相談課からのメッセージ

ルール引き継ぎ 退院調整に実着 県

要介護・支援の患者さん

総合南東北病院では、要介護・要支援状態の患者さんが自宅などへ退院するための準備をする際に、患者さんに関する情報などを病院からケアマネジャーに着実に引き継ぐために福島県退院調整ルールを活用しております。

要支援・要介護認定をお持ちの患者さんは、入院時セットに介護保険証・担当ケアマネジャーの名刺なども準備していただき、入院したらなるべく早くケアマネジャーへ連絡をしていただければと思います。また、介護認定を持っていない患者さんや、在宅退院にあたって不安のある患者さんなども、お気軽に医療相談課(☎024-934-5564)へご相談ください。

最近 よく聞く言葉

10秒間目を開けたままです。いられますか。無理、または辛いと感じる場合、ドライアイの可能性がります。ドライアイとは、目を守るのに欠かせない涙の量が減って目が乾燥している状態です。目の表面は涙によって保護されていますが、目に問題があったり、涙を分泌する機能にトラブルが起こると、涙による目の保護が十分でなくなりま

ドライアイになる原因は、目の酷使や乾燥などの生活習慣によるものと疾患によるものがあります。ドライアイになると文字通り、目が乾いた感じがしますが、症状はそれだけではなく、痛みや痒み、不快感といった症状にも関係し、身体の不調を招く原因ともなります。更に進むと目がショボショボ、ゴロゴロするなどのマイ

ドライアイ

ポーム腺炎、涙腺や唾液腺などを壊すシェーグレン症候群、角膜炎、角膜潰瘍等の疾患を引き起こすこともあります。パソコンやテレビゲーム、タブレット、スマートフォンなどの画面を長時間見続けると、涙を目の表面に運ぶ瞬(まばた)きの回数が減ってしまします。瞬きは通常1分間に15〜20回程度といわれますが、IT機器を使用している時には瞬きが五分の程度まで減ってしまっていることがあるのです。

IT機器を使う時は、視線より画面が下にくるようにし、意識して瞬きして涙の分泌を促してください。1時間ごとに約15分目を休めるなどこまめな休憩が大切です。目の乾きや疲れを感じたらIT機器の使用を止めること。目の疲れをとる体操やマッサージ、蒸したタオルを顔の上に乗せて目を休めると血行が良くなり、疲れ目に効果を発揮します。